

平成20年度 区取組み方針自己評価シート

(此花区)

20年度区取組み方針抜粋					20年度の取組み実績		20年度の取組み実績を踏まえた自己評価	21年度区取組み方針で変更した項目	
現状認識	主な経営課題	具体的取組み項目	予算額(千円)	業績目標	20年度に行った具体的取組みと成果	業績目標の達成状況及び課題			
20年度の区取組み方針を記載してください。 (平成20年11月19日付け「区取組み方針進捗状況表の作成について(依頼)」の事務連絡で作成された「区取組み方針進捗状況表」の内容を貼り付けてあります。変更等がある場合は、適宜修正してください。)					20年度に実際に取り組んだ内容と成果を記載してください。		・業績目標の達成状況について次のいずれかを記載してください。 ・達成 ・進捗が遅れている。 ・達成できなかった(下欄参照) ・目標の達成状況が 又は の場合はその理由も併せて記載してください。 ・また、取組ごとに課題があれば記載してください。	・関連する複数の具体的取組みを一つの単位として括れるものは、一括した単位で自己評価を記載してください。 ・また、複数年での取組みを実施している場合は、最終の業績目標に対する自己評価を記載してください。	21年度区取組み方針で変更している事項について記載してください。(21年度区取組み方針のどこを変更したのかわかるように具体的取組み名も付記してください。
・平日に来庁できない区民がいる。 ・関連した手続きに、複数の窓口を回る必要があり、手続きに時間がかかる。 ・保健福祉センターが1・2階に分かれていて分かりにくい。 ・支援運営担当の待合が狭く、混雑しており、ゆっくり相談できるスペースがない。 ・窓口の対応が不親切、口調がきつい、もっとわかりやすく説明してほしい、庁内案内の表示がわかりにくい、違う窓口を指示された、事務処理が遅い、待つ時間が長い、職員の状態が悪い等の声がある。	・親切丁寧な市民対応や迅速で確かな窓口対応、分りやすい窓口、利便性の高い区役所づくりによる満足度の高い市民サービスの提供。	・毎月第4日曜日に住民情報担当と保険年金担当の窓口業務を全日取り扱い。		・窓口業務の全日取り扱い ・20年4月から	・職員のローテーションにより毎月第4日曜日に住民情報・保険年金窓口業務を全日実施。(20年4月から)		・平日に来庁できない市民に対しての利便性の向上と、平日における一定の混雑回避により待ち時間の短縮を図った。		
		・住民情報担当の証明窓口と税証明窓口を同一窓口にまとめる。		・証明窓口の同一窓口化 ・20年8月から	・窓口一本化チームの立ち上げ及び住民情報窓口全体のレイアウトを作成。(21年2月～3月) 税証明窓口を住民情報業務窓口と隣接した場所に移設。(20年8月)	・狭隘な事務スペースのため・既設ペルコンの設置位置と住民情報窓口業務全体のレイアウトに時間を要した。	・証明書発行窓口の一元化及び届出受付業務の集約化により、区民にわかりやすい窓口整備を、21年8月までに実施していく。		
		・住所異動や出生届に伴う国民健康保険・乳幼児医療費助成・児童手当申請等の関連する手続き書類を回付するなど、手続き方法を改善する。		・迅速な事務処理による待ち時間の解消 ・20年4月から	・住所異動・出生届・乳幼児医療・児童手当等の関連した手続きを、案内ファイルによって、一連の申請にかかる待ち時間の短縮を図った。 (20年5月から)		・待ち時間の短縮及び手続き漏れを防止することができた。		
		・税務担当の移転に伴う空きスペースに、支援運営担当を配置するとともに、窓口をわかりやすく改善する。		・相談室や待合スペースの整備 ・分りやすい窓口整備 ・20年8月から	・支援運営・保健関係業務を2階の税務担当跡スペースに集約することにより、わかりやすい窓口に改善し、相談スペースや待合スペースを整備。(20年10月) ・キッズルームの整備(20年10月)		支援運営・保健関係業務を集約することにより、市民によりわかりやすい窓口の改善につながり、税務担当跡スペースの有効活用を図れた。		
		・戸籍事務の処理時間を短縮するため、電算処理に向けた準備を行う。		・システム用端末設置による運用テストの実施 ・21年2月頃	・狭隘な事務スペースでの、機器設置レイアウトの作成。(20年11月) ・システム化に伴う、戸籍簿の事前点検の終了。(21年3月) ・システム運用テストの実施 (21年2月)		・戸籍情報システムの本稼働に向け、当初予定どおり準備できた。 (22年7月本稼働予定)		
		・住民情報担当窓口に電光案内掲示板を設置し、証明書の交付案内をわかりやすくする。	355	・案内掲示板の設置による分りやすい証明交付窓口 ・20年秋頃	・電光掲示板機器会社及び広告会社への照会や事前の見積もり聴取。 (21年3月)	・当初予定していた電光案内掲示板の広告会社による無償設置が困難となったため、歳入予算の裏づけや歳出額の再検討・精査が必要となった。	・電光掲示案内版の設置は、特に高齢者や障害者にわかりやすいサービスであることを再認識した。 ・機器設置費・リース料・広告料など経費の、歳入・歳出バランスを考慮し22年度末までに設置していく。		

目標の達成状況について

- ・・・「20年度具体的取組」欄に掲げた目標を年度内に達成した場合(少しでも目標を下回れば にはなりません。)
- ・・・()進捗状況が遅れているが、21年度早期に達成予定の場合(遅れている理由も「課題」欄に追記)、()数値目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成したといえるだけの合理的な説明が可能な場合(合理的な説明を「課題」欄に追記)
- ・・・達成できなかった()以外)

平成20年度 区取組み方針自己評価シート

20年度区取組み方針抜粋					20年度の取組み実績		20年度の取組み実績を踏まえた自己評価	21年度区取組み方針で変更した項目	
現状認識	主な経営課題	具体的取組み項目	予算額(千円)	業績目標	20年度に行った具体的取組みと成果	業績目標の達成状況及び課題			
20年度の区取組み方針を記載してください。 (平成20年11月19日付け「区取組み方針進捗状況表の作成について(依頼)」の事務連絡で作成された「区取組み方針進捗状況表」の内容を貼り付けてあります。変更等がある場合は、適宜修正してください。)					20年度に実際に取り組んだ内容と成果を記載してください。		<ul style="list-style-type: none"> 業績目標の達成状況について次のいずれかを記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 達成 進捗が遅れている。 達成できなかった(下欄参照) 目標の達成状況が又はの場合はその理由も併せて記載してください。 また、取組ごとに課題があれば記載してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連する複数の具体的取組みを一つの単位として括れるものは、一括した単位で自己評価を記載してください。 また、複数年での取組みを実施している場合は、最終の業績目標に対する自己評価を記載してください。 	21年度区取組み方針で変更している事項について記載してください。(21年度区取組み方針のどこを変更したのかわかるように具体的取組み名も付記してください。)
		<ul style="list-style-type: none"> 職員の接遇研修を実施し、より親切で丁寧な対応ができるようにする。 若手職員をまじえたプロジェクトチームによる提案をもとに、職場改善や業務改善の実施。 		<ul style="list-style-type: none"> 全係員を対象に研修実施 20年秋頃 プロジェクトチームの設置 業務改善、職場改善の取り組みの定着 20年5月から 	<ul style="list-style-type: none"> 所属研修への出前研修を活用し、全係員を対象に、外部講師による接遇研修を実施し、接遇力アップと市民サービス向上を図った。(20年10月) 職員公募により、広報紙の編集等への参画と、健康づくりをテーマにしたまちづくり事業の企画をおこなう二つのプロジェクトチームを設置した。(20年6月) 業務改善や職場改善を実施するための職場改善チームが、毎月のテーマを決め、職員に周知・徹底した。(20年5月から) 	係員への接遇研修に実施により、一定の接遇力アップが図れた。21年度以降は、全職員を対象に実施していく。		<ul style="list-style-type: none"> P.Tの広報紙編集等への参画により、以前と比較して見違える程、広報紙が見やすく、読みやすくなり、区民への広報媒体としての充実が図れた。また、健康づくりをテーマにした企画は、21年度重点予算事業に採択された。 	
<ul style="list-style-type: none"> ホームページの区民からの情報広場の利用が少ない。 区の広報紙やホームページへの区民からの情報提供や参加の機会が少ない。 職員の取材による地域情報の把握が少ない。 広報紙の計画的な編集やホームページを活用したタイムリーな広報が不十分。 きめ細かい情報発信や双方向の情報受信機能の充実が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> きめ細かい情報提供や情報受信機能の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙やホームページの編集に区民の協力を得て、その意見を反映する。 区民からの情報提供や地域情報コーナーの活用を高め、きめ細かいまちかど情報の掲載をふやす。 幅広い職員の参画により編集委員会を活性化させ、地域への取材などによる魅力ある紙面や画面づくりを進める。 地域への取材による多彩な情報を随時掲載し、最新の情報を提供。 区の各担当からさまざまな情報を積極的に提供。 職員の「地域担当制」を行事やボランティア活動への参加に加え、ニーズの積極的な把握に活用。 区民と区長の懇談会を開催し、意見交換を行う。 	7,280	<ul style="list-style-type: none"> 区民からの寄稿、情報提供、編集への幅広い職員の参加、取材記事の増加による魅力ある広報紙やホームページの作成 地域活動への参加(毎月) 各種行事への参加(随時) 区長との懇談会や意見交換の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各担当から構成する広報紙編集委員会や広報充実プロジェクトチームを立ち上げ、見やすく分かりやすい広報紙を作成した。(20年5月から) 区民の投稿によるリレーエッセイ記事を毎月掲載。(20年4月から) 小学校、中学校、高校の地域での清掃や国際交流を取材し、広報紙・区HPに掲載した。(20年9月～12月) 課長級の地域担当制により、課長級が、毎月の一斉清掃や地域での行事に、ボランティアとして参加した。(20年4月から) 女性会や区PTA協議会の会合などで、区長による講演や懇談会を実施した。(20年7月～12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙編集委員会や広報充実プロジェクトチームがそれぞれ役割分担することにより、広報紙・区HPの見やすさ分かりやすさが格段にアップした。また、職員自ら記事を取材する姿勢が現れてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や各種団体とのコミュニケーションを図るため、今後も継続した取組みが必要である。 特に女性会での講演や意見交換会は、好評であったので、継続していくことの検討が必要である。 		

目標の達成状況について

- ・・・「20年度具体的取組」欄に掲げた目標を年度内に達成した場合(少しでも目標を下回れば にはなりません。)
- ・・・()進捗状況が遅れているが、21年度早期に達成予定の場合(遅れている理由も「課題」欄に追記)、()数値目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成したといえるだけの合理的な説明が可能な場合(合理的な説明を「課題」欄に追記)
- ・・・達成できなかった()以外)

平成20年度 区取組み方針自己評価シート

20年度区取組み方針抜粋					20年度の取組み実績		20年度の取組み実績を踏まえた自己評価	21年度区取組み方針で変更した項目	
現状認識	主な経営課題	具体的取組み項目	予算額(千円)	業績目標	20年度に行った具体的取組みと成果	業績目標の達成状況及び課題			
20年度の区取組み方針を記載してください。 (平成20年11月19日付け「区取組み方針進捗状況表の作成について(依頼)」の事務連絡で作成された「区取組み方針進捗状況表」の内容を貼り付けてあります。変更等がある場合は、適宜修正してください。)					20年度に実際に取り組んだ内容と成果を記載してください。		<ul style="list-style-type: none"> 業績目標の達成状況について次のいずれかを記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 達成 進捗が遅れている。 達成できなかった(下欄参照) 目標の達成状況が又はの場合はその理由も併せて記載してください。 また、取組ごとに課題があれば記載してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連する複数の具体的取組みを一つの単位として括れるものは、一括した単位で自己評価を記載してください。 また、複数年での取組みを実施している場合は、最終の業績目標に対する自己評価を記載してください。 	21年度区取組み方針で変更している事項について記載してください。(21年度区取組み方針のどこを変更したのかわかるように具体的取組み名も付記してください。)
・出前講座は地域から好評で、利用も増えている。		・「出前講座」のメニューを整理するなど、わかりやすくし、利用しやすくなるように改善。		・メニューの整理やPRにより利用件数のアップ	・出前講座メニューを整理し、わかりやすい内容や説明になるように見直しを実施し、HPへの掲載や地域団体へPR。(20年4月から)		・出前講座の内容の充実と、幅広く区民に利用してもらうことなど課題も存在するが、19年度より利用件数・受講者数がアップした。(32件・1,509名)		
・厳しい財政状況のもと、歳入確保の必要性が高まっている。	・収入の確保、国民健康保険料の未収額の圧縮。	・区の広報紙やホームページ、自動式カレンダー等に広告を募集し、収入を確保。		・広告による収入目標： 1,500千円	広報紙・区HP・自動式カレンダーなどの広告料の収入確保に努め、約230万円の歳入となった。(20年4月から)		既存の広報媒体については、広告収入が定着しつつあるので、新規の広報媒体の検討が必要である。	取組3-2-区広報紙やHP、自動式カレンダー等に広告を募集する。	
		・督励強化、滞納処分の実施、口座振替の加入促進による納期内納付者の確保。 ・「収納対策会議」などを開催し、担当内の連携を強め19年度目標を上回る実績の確保。		・国保収納率19年度目標値85.02%の実績の確保	・特別徴収対策強化で未収額圧縮に向けて電話・文書送付による来庁勧奨、接触困難世帯への訪問督励強化、他保険加入調査による資格喪失届出の勧奨等、資格適正確認の実施に取り組んだ。(20年4月から)	・後期高齢者医療制度に移行したことにより、口座振替への加入率が8.56%の減となった。(58.32% 49.76%) ・20年度国保収納率 83.81%(21.5.29時点)			・口座振替勧奨を強化し、資格適正化の徹底、納付誓約・納付計画世帯の履行監視の強化と不履行世帯に対する財産調査を行い、最終的には滞納処分を実施するなどしていくが、併せて口座振替への加入率アップを図る必要がある。
・業務の効率化が求められている。	・効率的、効果的な業務運営。	・区役所の庶務関係事務の集約化を検討。		・庶務業務の集約化 ・20年秋頃	・総務事務センターの設置にともない、庶務関係事務を整理・集約化し、職員への周知徹底を図った。(20年9月~10月)		庶務ガイドや勤務情報システムの活用などにより、一定の庶務関係業務の整理と業務の効率化が図れた。		
		・保健福祉センターの生活環境業務を集約化。		・生活環境業務を集約化 ・20年夏~秋頃実施	生活衛生監視事務所を設置し、保健福祉センターの環境衛生、食品衛生関係業務を集約化し、業務窓口の改善を行った。(20年11月)	集約化により効果的・効率的な監視体制が確立できたが、生活衛生監視事務所の周知を図る必要がある。			
・情報公開の徹底による積極的な情報開示により透明性の高い、ガラス張りの行政運営が求められている。	・市民に信頼される区役所づくり (情報公開の徹底)	・広報紙やホームページなどで、政策企画段階からの区政情報の積極的な発信と開示を進める。 ・情報公開の徹底についての研修を実施し、積極的な情報開示と市民との情報共有についての職員の意識改革を徹底。		・迅速な情報開示や情報公開していく姿勢を根付かせる ・全職員を対象に研修実施(21年1月)	・入札・契約情報、主な事業などのHPへの掲載(20年4月から) ・内部統制連絡会議により、職員の情報公開の取り組みの周知・徹底。(20年4月) ・コンプライアンス研修の実施(21年2月)		情報公開の徹底による市民に信頼される区役所づくりを推進していくためには、研修等により職員の意識改革を継続的に実施する必要がある。		
		・公金取り扱いについて統一の様式を採用し、内部監察を実施する。		・公金の適正な管理の徹底	公金取り扱いにおいて、区の統一様式を策定し、内部統制責任者による監査を実施した。(20年10月から)	統一様式の実施により、公金取り扱い事務が統一化でき、公金管理の適正化と透明性の向上が図れた。			

目標の達成状況について
 ・・・・「20年度具体的取組」欄に掲げた目標を年度内に達成した場合(少しでも目標を下回れば にはなりません。)
 ・・・・()進捗状況が遅れているが、21年度早期に達成予定の場合(遅れている理由も「課題」欄に追記)、()数値目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成したといえるだけの合理的な説明が可能な場合(合理的な説明を「課題」欄に追記)
 ・・・・達成できなかった()以外)

平成20年度 区取組み方針自己評価シート

20年度区取組み方針抜粋					20年度の取組み実績		20年度の取組み実績を踏まえた自己評価	21年度区取組み方針で変更した項目	
現状認識	主な経営課題	具体的取組み項目	予算額(千円)	業績目標	20年度に行った具体的取組みと成果	業績目標の達成状況及び課題			
20年度の区取組み方針を記載してください。 (平成20年11月19日付け「区取組み方針進捗状況表の作成について(依頼)」の事務連絡で作成された「区取組み方針進捗状況表」の内容を貼り付けてあります。変更等がある場合は、適宜修正してください。)					20年度に実際に取り組んだ内容と成果を記載してください。		<ul style="list-style-type: none"> 業績目標の達成状況について次のいずれかを記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 達成 進捗が遅れている。 達成できなかった(下欄参照) 目標の達成状況が又はの場合はその理由も併せて記載してください。 また、取組ごとに課題があれば記載してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連する複数の具体的取組みを一つの単位として括れるものは、一括した単位で自己評価を記載してください。 また、複数年での取組みを実施している場合は、最終の業績目標に対する自己評価を記載してください。 	21年度区取組み方針で変更している事項について記載してください。(21年度区取組み方針のどこを変更したのかわかるように具体的取組み名も付記してください。)
・個人情報の適正な保護・管理の徹底が必要である。	・市民に信頼される区役所づくり(個人情報の保護)	・業務上、区が保有した個人情報については厳格な管理を徹底、随時チェックを行い、不要となった個人情報は速やかに廃棄。 ・適正な証明書発行や窓口・電話対応での個人情報保護、誤交付・誤送付防止を徹底。		・個人情報の適正な管理の徹底 ・全職員を対象にコンプライアンス研修を実施(12月・2月)	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取得・保管・保存・廃棄についての定期監察を実施し、情報管理が適正に執行されているかチェック。(20年10月) 課長級を対象にした外部講師によるコンプライアンス研修を実施(20年12月) 係長・係員を対象にした課長級職員によるコンプライアンス研修を実施(21年2月) 		個人情報の適正な保護・管理の徹底が重要であることを、職員に理解させることができたが、今後も継続的に研修等を実施していく必要がある。		
・区民の安全確保の取組みが必要である。	・市民に信頼される区役所づくり(安心安全なまちづくりの推進)	・地域安全対策職員による区内の安全パトロールや公園・遊具施設の点検等、事故防止に取り組む。		・地域安全対策職員による事故防止の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域安全対策担当職員により、日常的な安全パトロールの中で、事故多発地域への巡視、公園施設等の点検、広報紙等による啓発を実施。(20年4月から) 		・地域安全対策担当職員の活動は、「このはちゃんのパトロール」として、地域への理解が定着しつつあり、地域と連携した活動は効果をあげている。		
・率先した環境保全の取組みが必要である。	・市民に信頼される区役所づくり(環境保全の取組みの推進)	・両面コピー、ミスコピーの裏面利用、ペーパーレスの徹底を図り、用紙使用量を20年度までに16年度の3%削減をめざす。 ・エネルギー削減のためエコオフィスの取組みや昼休みの不要な照明の消灯に努める。		<ul style="list-style-type: none"> 用紙使用量の3%削減(16年度比) 省エネルギー行動の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 職場改善運動と連携して、両面コピー・ミスコピーの裏面利用等の徹底により、用紙使用量を16年度比で6.8%削減(21年3月) 夏季・冬季の冷暖房温度設定の取組み、昼休み消灯の徹底(20年4月から) 		環境保全への取組みが、職場改善運動や環境研修を通して職員に理解されつつあるが、引き続き徹底した取組みが必要である。		
<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化やまちの賑わいを創出するために、地域に誇りや愛着をもてる新しいイメージづくりも必要である。 まちづくり事業への参加者が高齢化しており、広がりが少なく、若年層や子育て世帯の参加の促進が必要である。 区内の観光資源の再発見やま 	・地域課題や地域ニーズに応じた独自事業の推進	「このはなアートプロジェクト」事業 ・20年度は、制作場所を拡充し、アートによるまちづくりを進め、憩いと交流の場づくりを進める。また、芸術家の育成や商店街との連携による制作拠点づくりに向けた検討を行う。	6,950	・壁画を区内公共施設に5~6カ所以上に制作。	<ul style="list-style-type: none"> アート工房を各地域(6箇所)で開催。(20年9月~12月) 壁画を高見町公園、六軒家川堤防、西島堤防、此花第2太平学園、此花区役所東壁面の5ヶ所で制作。(20年12月~21年3月) アートフェスタの開催。(21年3月) 		19年度以降の2年間で、区内7ヶ所において壁画が完成し、またアート工房を区役所・小学校・幼稚園・イベント会場などで開催することによって、多くの地域団体や市民が製作段階から参加し、アートによる市民協働のまちづくりの推進を図ることができた。NPOや企業が独自にアートイベントを開催するなど、アートプロジェクトの取組みが根付き始めてきている。		

目標の達成状況について

- ・・・「20年度具体的取組」欄に掲げた目標を年度内に達成した場合(少しでも目標を下回れば にはなりません。)
- ・・・()進捗状況が遅れているが、21年度早期に達成予定の場合(遅れている理由も「課題」欄に追記)、()数値目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成したといえるだけの合理的な説明が可能な場合(合理的な説明を「課題」欄に追記)
- ・・・達成できなかった()以外)

平成20年度 区取組み方針自己評価シート

20年度区取組み方針抜粋					20年度の取組み実績		20年度の取組み実績を踏まえた自己評価	21年度区取組み方針で変更した項目
現状認識	主な経営課題	具体的取組み項目	予算額(千円)	業績目標	20年度に行った具体的取組みと成果	業績目標の達成状況及び課題		
20年度の区取組み方針を記載してください。 (平成20年11月19日付け「区取組み方針進捗状況表の作成について(依頼)」の事務連絡で作成された「区取組み方針進捗状況表」の内容を貼り付けてあります。変更等がある場合は、適宜修正してください。)					20年度に実際に取り組んだ内容と成果を記載してください。		・業績目標の達成状況について次のいずれかを記載してください。 :達成 :進捗が遅れている。 :達成できなかった(下欄参照)	・関連する複数の具体的取組みを一つの単位として括れるものは、一括した単位で自己評価を記載してください。 ・また、複数年での取組みを実施している場合は、最終の業績目標に対する自己評価を記載してください。
ち の魅力の発信とまちづくりを担う人材養成が必要。 ・まちづくりを進めるためのノウハウを身につけたいという要望が強い。 ・舞洲の知名度は低く、利用していない区民も多い。		「このはな区民学芸員」養成事業 ・区の歴史講座やまち歩き等により、まちづくりを担う人材を養成し、まちの魅力や観光資源を発信する。	3,150	・40名を公募。 ・10回の講座を実施。 ・観光ルートの作成(3コース)	・区民学芸員を公募し、38名の応募があり、全員に修了証を交付した。(21年3月) ・講義・グループ活動・学習の実践も含め10回の講座を実施。(21年8月~21年3月) ・ゆめ咲き線ルート・北港~朝日橋ルート・舞洲ルートと、2つのArt deウォークルートを策定した。(20年12月~21年3月)		ほぼ予定数の区民学芸員の養成ができ、ルート設定もおこなったので、区民学芸員自身が主体的にガイドできる実践の場の提供と、そのための情報発信を強化していく必要がある。	
		まちづくり能力開発セミナー事業 ・19年度に創設した「このはなカエルクラブ」のメンバーに、まちづくりに必要な能力を身につけてもらうセミナーを実施。 ・「このはなかえっこフェスティバル」の開催。子どもに人気のあるおもちゃの物々交換である「かえっこバザール」を区民との協働で実施。	3,260	・まちづくり能力開発セミナーの実施(5回の講座を実施)。 ・かえっこフェスタの実施。 ・ワークショップを5回開催	・「まちづくり活動をする人のための応援講座」6回開催、「かえっこマスター養成講座」2回開催(20年9月~21年3月) ・「このはなカエルクラブ定例ワークショップ」4回開催、「こどものものづくりワークショップ」2回開催。(20年8月~21年3月) ・かえっこフェスティバルを開催(21年3月)		・まちづくり能力開発セミナー受講者が、セミナーの成果を活かし、アートプロジェクト、かえっこバザールの企画・運営や、地域でのまちづくり活動に活用している。 ・かえっこフェスティバルとアートフェスタと共催することで、イベントの相乗効果をあげることができた。	
		川と海をつなぐ大阪水都観光交流促進事業 ・(株)ミズノの協賛により、舞洲スポーツアイランドを会場に開催。	1,030	・参加人数:1,000人。 ・10月実施。	・オリンピック体操選手による体操体験教室、緑花講演会・講習会、アート体験工房、ウォークラリー、健康チェックコーナーなどを開催し、約3,000人が参加。(20年10月)		雨天での開催となったことから、サイクリラリー・かえっこバザール・野球教室など屋外行事が中止となった。雨天も考慮した開催検討の必要がある。	
・東南海・南海地震や上町断層帯での地震による甚大な被害が懸念され、地域における防災力の向上が急務となっている。 ・大規模災害の発生を想定した住民参加型の防災訓練や地域単位の避難訓練の実施が必要。	・地域との協働によるまちづくりの推進。(地域防災力の向上)	防災訓練の充実を図る。 ・より効果的、実践的な地域ぐるみの防災活動ができるように、各種の研修・訓練をレベルアップさせ、初期初動体制の充実をめざす。	2,690	・10連合地域防災リーダー研修を実践型に充実して実施 ・未実施の3小学校下で実施。	・10連合地域防災リーダー、連合役員75名を対象に、地域防災リーダー実技研修を実践型に見直し、6回の研修を実施。(20年5月~6月) ・高見・西島・島屋小学校下で防災訓練・図上防災訓練を実施し、約600名の参加があった。(20年5月~11月)		実践型の研修を実施することにより、区としての弱点を含めた初期活動の対応方法など、今後の実践型研修の課題として確認することができた。	
		・各地域ごとに住民参加型イベントや地域ごとの防災研修を実施する。				地域での住民参加型イベントでの防災訓練を実施することにより、幅広く地域住民に対し、防災意識を喚起することができた。		

目標の達成状況について
 ・・・・「20年度具体的取組」欄に掲げた目標を年度内に達成した場合(少しでも目標を下回れば にはなりません。)
 ・・・・()進捗状況が遅れているが、21年度早期に達成予定の場合(遅れている理由も「課題」欄に追記)、()数値目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成したといえるだけの合理的な説明が可能な場合(合理的な説明を「課題」欄に追記)
 ・・・・達成できなかった()以外)

平成20年度 区取組み方針自己評価シート

20年度区取組み方針抜粋					20年度の取組み実績		20年度の取組み実績を踏まえた自己評価	21年度区取組み方針で変更した項目	
現状認識	主な経営課題	具体的取組み項目	予算額(千円)	業績目標	20年度に行った具体的取組みと成果	業績目標の達成状況及び課題			
20年度の区取組み方針を記載してください。 (平成20年11月19日付け「区取組み方針進捗状況表の作成について(依頼)」の事務連絡で作成された「区取組み方針進捗状況表」の内容を貼り付けてあります。変更等がある場合は、適宜修正してください。)					20年度に実際に取り組んだ内容と成果を記載してください。		<ul style="list-style-type: none"> 業績目標の達成状況について次のいずれかを記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 達成 進捗が遅れている。 達成できなかった(下欄参照) 目標の達成状況が又はの場合はその理由も併せて記載してください。 また、取組ごとに課題があれば記載してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連する複数の具体的取組みを一つの単位として括れるものは、一括した単位で自己評価を記載してください。 また、複数年での取組みを実施している場合は、最終の業績目標に対する自己評価を記載してください。 	21年度区取組み方針で変更している事項について記載してください。(21年度区取組み方針のどこを変更したのかわかるように具体的取組み名も付記してください。)
<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まですべての人が、身近な問題として防災意識を高めていくことが必要。 地域防災リーダーは増員されているが、高齢化しており、行政への依存度が高く、長期間活動できるリーダーの育成が求められる。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域における避難訓練や防災体制の充実のための研修やワークショップなどを地域で主体的に実施できる体制づくりを進める。 		<ul style="list-style-type: none"> 主体的な訓練の開催(2回、参加数300名) 検討会を3回開催 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での主体的な訓練を、高見連合・西島連合・島屋連合で計3回開催し、約300名が参加した。(20年8月~11月) 地域での主体的な訓練を実施するためのワークショップを計5回開催。(20年8月~21年2月) 		<ul style="list-style-type: none"> 災害時には、地域住民が主体となって、対応しなければならないという自主防災の意識づけを一定することができた。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 地域防災リーダーを育成 地域防災リーダーを育成するための実技研修会や講演会など、各連合ごとの指導者研修を実施 	460	<ul style="list-style-type: none"> 全地域でリーダー研修実施。 20年6~7月。 21年2月。 	<ul style="list-style-type: none"> 実践型の地域防災リーダー研修を、実施し、地域防災リーダー約240名が参加した。(20年5月~21年2月) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災リーダーの育成と、災害時の効果的な初動体制づくりが確認できた。 			
<ul style="list-style-type: none"> 各地で子どもが事件や事故に巻き込まれるケースが頻発しており、18年度に区役所の地域安全対策業務を開始した。 老人会を中心とした各地区「子ども見守り隊」が発足した。 老人会からは、保護者の参加を望む声もあり、さらに多くの区民の参加による見守り活動が必要である。 警察を含め関係機関・団体で情報交換会や合同研修を実施しているが、協働による取組みには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との協働によるまちづくりの推進。(子どもの安全確保の推進) 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全対策 区の地域安全対策従事職員と地域の見守り隊等との情報交換を進め、連携した見守り活動を展開する。 各小学校PTAとの協議の場を設け、見守り活動への参加を促進する。 各見守り隊のネットワーク化を進め、全見守り隊の定期的な会合を開催するなど、連携を強化する。 	440	<ul style="list-style-type: none"> 地域との情報交換及び連携した見守り活動 各小学校PTAの見守り活動への参加を促進 各見守り隊のネットワーク化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域安全対策担当職員による日常的な子どもの見守り活動の中で、地域の老人会等が主体となった「子ども見守り隊」と情報交換等しながら活動を実施した。(20年4月から) 区青少年育成推進会議主催の夜間巡視などを、各小学校PTAと地域安全対策職員と一緒に活動することにより、見守り活動への参加を促した。(20年7月~21年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り隊のネットワーク化については、8小学校下・17団体が地域で自主的に活動しており、その活動内容も一律ではないため、ネットワーク化するための準備に時間を要した。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの「子ども見守り隊」は、地域で個々に自主的な活動しているが、より幅広い地域住民の参加が必要であると考えられることから、区として支援していく必要がある。 見守り隊のネットワーク化については、21年7月頃を目途に、幅広いネットワーク化を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 取組4-2- 区安全なまちづくり推進協議会を中心に、関係機関・団体等と連携した取組みの推進 	
<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティアの協力により、区役所や保育所等でさまざまな自主的な子育て支援事業が実施されている。 民生委員児童委員や地区社会福祉協議会等の協力により、 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との協働によるまちづくりの推進。(子育て支援の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ごとの「子育てサロン」の開設を支援する。 民生委員児童委員協議会、区社会福祉協議会と連携し、地区レベルでのサロンの説明会・学習会の開催や子育てボランティア講座を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> 20年度中に子育てサロンを2箇所新規開設 キッズルームの開設、暫定的活用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 西島地区と春日出地区の2ヶ所で、子育てサロンを開設し、計5ヶ所での開設となった。(7月~9月) キッズルームを開設し区民への利用を開始した。(20年10月) 		<ul style="list-style-type: none"> 自主的な子育てサークル活動は地域差があるので、現在7ヶ所ある子育てサロンに加え、さらに区全体に広げていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 取組4-4- 子育て支援事業「子育て親子よっといでプラン」の推進 	

目標の達成状況について

- ・・・「20年度具体的取組」欄に掲げた目標を年度内に達成した場合(少しでも目標を下回ればにはなりません。)
- ・・・()進捗状況が遅れているが、21年度早期に達成予定の場合(遅れている理由も「課題」欄に追記)、()数値目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成したといえるだけの合理的な説明が可能な場合(合理的な説明を「課題」欄に追記)
- ・・・達成できなかった()以外)

平成20年度 区取組み方針自己評価シート

20年度区取組み方針抜粋					20年度の取組み実績		20年度の取組み実績を踏まえた自己評価	21年度区取組み方針で変更した項目	
現状認識	主な経営課題	具体的取組み項目	予算額(千円)	業績目標	20年度に行った具体的取組みと成果	業績目標の達成状況及び課題			
20年度の区取組み方針を記載してください。 (平成20年11月19日付け「区取組み方針進捗状況表の作成について(依頼)」の事務連絡で作成された「区取組み方針進捗状況表」の内容を貼り付けてあります。変更等がある場合は、適宜修正してください。)					20年度に実際に取り組んだ内容と成果を記載してください。		・業績目標の達成状況について次のいずれかを記載してください。 ・達成 ・進捗が遅れている。 ・達成できなかった(下欄参照) ・目標の達成状況が又はの場合はその理由も併せて記載してください。 ・また、取組ごとに課題があれば記載してください。	・関連する複数の具体的取組みを一つの単位として括れるものは、一括した単位で自己評価を記載してください。 ・また、複数年での取組みを実施している場合は、最終の業績目標に対する自己評価を記載してください。	21年度区取組み方針で変更している事項について記載してください。(21年度区取組み方針のどこを変更したのかわかるように具体的取組み名も付記してください。
親子が気軽に集える地域ごとの「子育てサロン」の開設が進んできた。 ・自主的な子育てサークルが少なく、成熟していない。 ・子育てに関する情報の受発信や支援事業を支えるボランティアの養成が課題である。		・民生委員児童委員協議会により区役所で「キッズルーム」を開設する。 ・子育てサロンを2ヵ所で開設する。 ・子育てボランティアをボランティアビューローに登録し、各種事業への参加を促す。 「ネットワーク会議」での子育て事業の運営を支援する。 ・保育所と連携した子育て相談や子育て講座などを実施し、地域の親子の参加を呼びかける。		・子育てネットワーク「このはネット」の子育てイベント開催。(11月開催、100組の親子の参加)	・区内子育て支援組織「このはネット」主催で、就学前児童を対象にした、親子ふれあいイベントを開催し、100組の親子が参加。(20年11月) ・ボランティア・ビューローとの共催で、保育ボランティア養成講座を3回開催。(20年9月・10月) ・民生委員連盟との共催で、親子ファミリーコンサートを開催(20年8月)		・区内子育て組織やボランティアを活用しながら、イベントや講座を開催し、一定の成果をあげた。 ・子育て支援ボランティアの養成や支援組織相互の連携の強化が必要である。		
・西九条・千鳥橋の駅周辺では、土曜、日曜、休日は放置自転車があふれ、通行の妨げとなっており、安治川口駅前でも乱雑に駐輪し、歩道にあふれている。 ・西九条・千鳥橋駅の駐輪場が十分分利用されていない。 ・駐輪対策を継続していくためには、行政のみならず住民自らの行動も不可欠あり、住民参加による協働の取り組みの推進が必要である。 ・西九条駅の周辺のみ、平日はサイクルサポーターにより、休日は区役所業務として駐輪の整理作業が行われている。	・地域との協働によるまちづくりの推進。 (放置自転車対策の推進)	自転車利用適正化事業 ・駅前での自転車整理事業に加え、区民主体のキャンペーン活動を2ヵ月ごとに区内主要駅前で行うなど、地域住民の参加による啓発・指導・整理等の放置自転車対策を進める。 ・地域活動団体(町会・商店会等) 道路管理者、警察、鉄道事業者等からなる放置自転車対策会議を設置し、協働による取り組みを進める。	4,660	・住民参加の協議会を立ち上げて、駅ごとの組織的な運動体制を構築。(3駅に設置) ・区内主要駅で区民が主体となったキャンペーンなどによる啓発活動の実施。(毎月実施)	・西九条駅・安治川口駅で、自転車対策の検討協議会を設置(20年8月) ・西九条駅・安治川口駅で、自転車整理、啓発活動をそれぞれ3回実施。(20年8月~10月) ・西九条駅・千鳥橋駅で、毎休日に自転車整理・指導を実施。(20年7月から)	千鳥橋駅での自転車対策の検討協議会設置を21年2月予定としていたが、調整・協議に時間を要した。	千鳥橋駅での検討協議会の設置には至らなかったものの、西九条・千鳥橋・安治川口の各駅で、自転車整理や啓発活動を実施したことにより、一定の成果をあげた。		

目標の達成状況について
 ・・・・「20年度具体的取組」欄に掲げた目標を年度内に達成した場合(少しでも目標を下回れば にはなりません。)
 ・・・・()進捗状況が遅れているが、21年度早期に達成予定の場合(遅れている理由も「課題」欄に追記)、()数値目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成したといえるだけの合理的な説明が可能な場合(合理的な説明を「課題」欄に追記)
 ・・・・達成できなかった()以外)

平成20年度 区取組み方針自己評価シート

20年度区取組み方針抜粋					20年度の取組み実績		20年度の取組み実績を踏まえた自己評価	21年度区取組み方針で変更した項目	
現状認識	主な経営課題	具体的取組み項目	予算額(千円)	業績目標	20年度に行った具体的取組みと成果	業績目標の達成状況及び課題			
20年度の区取組み方針を記載してください。 (平成20年11月19日付け「区取組み方針進捗状況表の作成について(依頼)」の事務連絡で作成された「区取組み方針進捗状況表」の内容を貼り付けてあります。変更等がある場合は、適宜修正してください。)					20年度に実際に取り組んだ内容と成果を記載してください。		・業績目標の達成状況について次のいずれかを記載してください。 ・達成 ・進捗が遅れている。 ・達成できなかった(下欄参照) ・目標の達成状況が又はの場合はその理由も併せて記載してください。 ・また、取組ごとに課題があれば記載してください。	・関連する複数の具体的取組みを一つの単位として括れるものは、一括した単位で自己評価を記載してください。 ・また、複数年での取組みを実施している場合は、最終の業績目標に対する自己評価を記載してください。	21年度区取組み方針で変更している事項について記載してください。(21年度区取組み方針のどこを変更したのかわかるように具体的取組み名も付記してください。
・幅広い区民が参画する「此花区まちづくり会議」の発意による地域一斉清掃やマナーアップキャンペーンの取り組みが進められている。 ・まちづくり会議については、自主的な活動になっておらず、より地域課題に即した区民の自律的な活動として強化していくことが必要である。 ・誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりをめざした「地域福祉アクションプラン推進委員会」の3グループによる活動がくりひろげられている。	・区民の自主的な地域活動の支援。	まちづくり会議による地域活動の推進。 ・「此花区“エコアクションプロジェクト”」事業 区民及び区内商店街と協働してマイバック持参推進運動、共通ポイントカードの導入等、環境に配慮した生活実践を推進する区民運動に取り組む。	3,570	・エコ部会を設置。 ・区民への行動提案の策定、啓発活動の実施 ・商店街の取り組みの推進	・まちづくり会議の下部組織としてエコ部会を設置。(20年9月) ・マイバッグ運動を、ポスターやチラシにより啓発活動を実施し、また区内4カ所で打ち水行動を行った。(20年11月から) ・商店街と女性会が連携して、商店街の空き店舗での環境イベントなどをおこなった。(21年2月)		まちづくり会議としてエコをテーマに初めて採用したが、各委員の温度差があり組織的な動きには必ずしもなっていない。今後、組織を強化し、息の長い取組みとして継続していく必要がある。		
		・18年10月から毎月第1日曜日に実施している“クリーンアップ大作戦”の参加者の増加をめざす。 ・区民・行政・企業の協働による“クリーンアップ大作戦”のスペシャル版の実施を検討する。		・毎月1,500名にする。 ・スペシャル版の実施。	・毎月の区内一斉清掃については、まちづくり会議事業として定着し、また区内中学校や高校の独自の清掃取り組みがあるものの、1,000名規模となっている。(20年4月から) ・区民・企業・行政が協働したスペシャル版の一斉清掃を舞洲で計画したが、雨天のため中止となった。(20年10月)	区内一斉清掃の主体は、高齢者が多く、かつ第一日曜日の開催で若年者や企業の参加が得にくいいため、参加者の増加には至らなかった。	区内で清掃活動する人を増加させるためには、平日に企業や学校が独自で実施する提案をおこなっていく必要がある。		
		区民と協働で区内のマナーアップに取り組む。 ・マナーアップキャンペーンなど、マナーの向上をめざす区民運動に取り組む。		・毎月の広報紙への掲載による啓発	区民から募集したマナーアップ標語や川柳などを毎月広報紙に掲載し、啓発した。(20年4月から)		まちづくり会議の事業として、今後も継続することにより、区のマナーアップを図っていく必要がある。		
		・地域課題の解決に向けた取り組みの推進を図るため、まちづくり会議の自主的な運営や活動を促進する。		・まちづくり会議の部会体制の確立による運営。	エコアクション部会を設置し、常任委員会や全体会議との役割分担を明確にした。(20年9月)		部会をテーマごとに多数設置していくか検討する必要がある。		

目標の達成状況について

- ・・・「20年度具体的取組」欄に掲げた目標を年度内に達成した場合(少しでも目標を下回れば にはなりません。)
- ・・・()進捗状況が遅れているが、21年度早期に達成予定の場合(遅れている理由も「課題」欄に追記)、()数値目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成したといえるだけの合理的な説明が可能な場合(合理的な説明を「課題」欄に追記)
- ・・・達成できなかった()以外)

平成20年度 区取組み方針自己評価シート

20年度区取組み方針抜粋					20年度の取組み実績		20年度の取組み実績を踏まえた自己評価	21年度区取組み方針で変更した項目	
現状認識	主な経営課題	具体的取組み項目	予算額(千円)	業績目標	20年度に行った具体的取組みと成果	業績目標の達成状況及び課題			
20年度の区取組み方針を記載してください。 (平成20年11月19日付け「区取組み方針進捗状況表の作成について(依頼)」の事務連絡で作成された「区取組み方針進捗状況表」の内容を貼り付けてあります。変更等がある場合は、適宜修正してください。)					20年度に実際に取り組んだ内容と成果を記載してください。		<ul style="list-style-type: none"> 業績目標の達成状況について次のいずれかを記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 達成 進捗が遅れている。 達成できなかった(下欄参照) 目標の達成状況が又はの場合はその理由も併せて記載してください。 また、取組ごとに課題があれば記載してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連する複数の具体的取組みを一つの単位として括れるものは、一括した単位で自己評価を記載してください。 また、複数年での取組みを実施している場合は、最終の業績目標に対する自己評価を記載してください。 	21年度区取組み方針で変更している事項について記載してください。(21年度区取組み方針のどこを変更したのかわかるように具体的取組み名も付記してください。)
		<ul style="list-style-type: none"> 「地域福祉アクションプラン」の実現に向けた取り組みの推進 住民主体の地域性を活かしたまちづくりとして、より福祉に重点をおいた活動となるよう支援。 幅広い区民の参画や地域ごとのアクションプランの推進体制を整えるため、地域別の住民懇談会を開催し、地域の特性に応じた課題と解決策を話し合う。 	620	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムの開催(2月) 3グループによる福祉活動の推進。 住民懇談会を20年度は、2地域で開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉アクションプラン事業の3年間の集大成として、フォーラムを開催し、300人の参加があった。(21年3月) 「住民が主体となった地域福祉の推進」を目的とした住民懇談会を四貫島地区、西九条地区の2地区で実施。(20年12月～3月) 「あみゆーず」「この花咲かそうよ」「このはな輪ちゃん」がそれぞれの活動を展開。(20年4月から) 		<ul style="list-style-type: none"> フォーラムへの参加者が予想以上であったことは、一定の成果であるが、参加者が固定化する傾向も見受けられる。今後の大きな広がり推進するには、福祉的なまちづくりとはなにかというイメージを、具体的に区民に広く定着させることが課題である。 住民懇談会については、区民への啓発を実施しながら、10地区全部での開催とその定着を図る必要がある。 		
<ul style="list-style-type: none"> 区役所やコミュニティ協会、まちづくり会議のほか、各種団体によるさまざまな取り組みが進められているが、同じような事業がバラバラに実施されているケースが見られる。 まちづくり会議、地域福祉アクションプランの事務局が相互の会議に出席しているが、団体間の協議や意見交換の場がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 区民の自主的な地域活動の支援(地域活動の協働の場づくりの推進) 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり関係グループの連携を強化し、共同での取り組みを進め、地域活動プラットフォームづくりに向けた検討を進める。 「まちづくり会議」「地域福祉アクションプラン推進委員会」のメンバーや事務局職員が相互に会議等に参加し、情報・課題の共有化や連携を強めながら、事業の共同実施など、可能な分野から共同での取り組みを進める。 コミュニティ協会や区社会福祉協議会、NPO法人、その他まちづくりに取り組んでいる自主的なグループ等と積極的に意見交換し、地域活動プラットフォームへの参画を促す。 		<ul style="list-style-type: none"> まちづくりを推進する関係機関の連携、交流を進める 協働事業の開催 学習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 川と海をつなぐ大阪水都観光交流促進事業、環境と健康フェア、アートプロジェクトなどの事業において、各種の地域団体や企業がそれぞれの立場で参加し、連携がなされた。(20年10月～3月) 地域振興会や女性会などに呼びかけ、参加型のまちづくり講演会を開催し、約100名が参加した。(20年10月) 		<ul style="list-style-type: none"> いままで単独の団体で事業することが大半であったが、一つの事業に色々な団体や行政がジョイントすることで、費用対効果が上がる事が確認できた。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 税務担当の移転に伴う空きスペースを活用し、まちづくりに取り組む区民の皆さんが利用できる部屋を設置します。 		<ul style="list-style-type: none"> 市民協働スペースの整備 要綱の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働スペース設置関係工事の実施。(20年10月) 管理運営要綱・要領の策定(21年12月) 		<ul style="list-style-type: none"> 市民協働スペースは、利用件数、利用日数等が十分とは言えない状況にあるので、区民への周知を徹底する必要がある。 		

目標の達成状況について

- ・・・「20年度具体的取組」欄に掲げた目標を年度内に達成した場合(少しでも目標を下回ればにはなりません。)
- ・・・()進捗状況が遅れているが、21年度早期に達成予定の場合(遅れている理由も「課題」欄に追記)、()数値目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成したといえるだけの合理的な説明が可能な場合(合理的な説明を「課題」欄に追記)
- ・・・達成できなかった()以外)